



平成 27 年 7 月 14 日

各 位

会 社 名 ファーマライズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 大野 利美知
(東証第一部・コード番号 2796)
問合せ先 専務取締役執行役員 秋山 昌之
(TEL. 03-3362-7130)

「中期経営計画 Challenge 2017 ～セルフメディケーション・サポートへの進出と 選ばれる会社を目指して」の基本方針策定について

当社は、2018 年 5 月期を最終年度とする「中期経営計画 Challenge 2017 ～セルフメディケーション・サポートへの進出と選ばれる会社を目指して」の基本方針を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

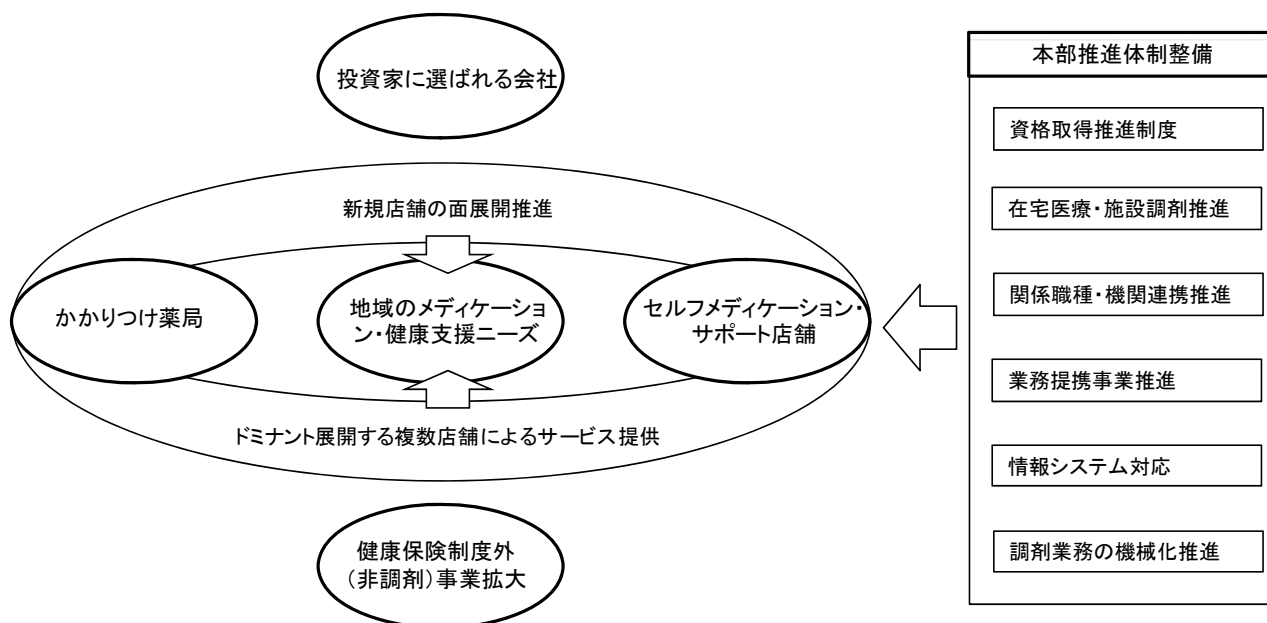
記

1. 中期経営計画の基本方針の概要

当社グループの基本方針は「全国の地域に対して、調剤を科学することで、優れた薬学医療を提供する」ことでもあります。この基本方針のもとで、平成 24 年 7 月に公表しました「中期経営計画 12-14 ～質と量のバランス良い両立を目指して」に基づき、調剤薬局サービスの高付加価値戦略であるソフト戦略と調剤薬局の地域密着戦略であるハード戦略を実践してまいりました。

新中期経営計画におきましては、従来の戦略を踏襲しつつ、患者及び利用者並びに投資家に選ばれる会社を目指すとともに、患者の薬物療法の安全性・有効性の向上や医療費の適正化といった薬局事業者に対する社会的期待・要請に積極的に対応しつつ、以下に掲げる 3 つのテーマに沿った施策を実行してまいります。

《中期経営計画の基本方針のイメージ》



《3年後に目標とする経営指標（2018年5月期：連結ベース）》

売上高	525億円以上（年間成長率10%以上）
自己資本当期純利益率（ROE）	5%以上（将来的には10%を目指します）

2. 中期経営計画の基本方針における3つのテーマ

（1）患者及び利用者には選ばれるために

上記目的達成のために、以下に掲げる体制整備と運用により地域のメディケーション・健康支援ニーズに対応したサービスを提供いたします。

《体制整備》

① かかりつけ薬局化の推進

患者のメディケーション・ニーズに対応するために次の施策を推進します。

- ◆ 電子お薬手帳ポケットファーマシーを活用した患者情報の一元管理に向けた取り組み強化
- ◆ 重複投薬、飲み合わせ、残薬確認の強化
- ◆ 在宅医療や施設調剤への積極的な参画の継続
- ◆ 24時間対応に向けた取り組み
- ◆ ジェネリック医薬品の推進

② セルフメディケーション・サポート店舗の展開

利用者にセルフメディケーション・健康支援サービスを提供するために、本位置付けの店舗を順次設定し、当該店舗において次の施策を推進します。

- ◆ セルフメディケーション・サポート及び健康支援ニーズ関連商品の販売
- ◆ 健康支援のためのイベント開催
- ◆ 関係職種・関係機関との連携強化
- ◆ 健康支援のための設備等の充実
- ◆ 認知症問題への取り組み

《運用》

① 面展開の推進

新規店舗において、患者・利用者の身近な地域における出店を強化します。

② ドミナント展開する複数店舗によるサービス提供

ドミナント展開するかかりつけ薬局の複数店舗及びセルフメディケーション・サポート店舗との協働による地域毎のニーズに合わせたメディケーション・健康支援サービスを提供します。

（2）健康保険制度外（非調剤）事業の拡大

既存の非調剤事業の他、主に以下に掲げますセルフメディケーション・サポート及び健康支援関連商品販売の本格的な取り組みを開始します。

- ◆ 一般用医薬品
- ◆ 医療材料
- ◆ 介護用品
- ◆ 機能的食品・健康食品、等

（3）投資家には選ばれる会社になるために

① 出店・M&Aの継続的推進により、従来の成長率を維持し着実な成長を目指します。

② 企業価値向上のために資本効率をより意識し、子会社再編等の経営効率向上施策を加速化します。

③ 会計処理・システムの継続的改善を実施し、開示の早期化を目指します。